

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

教科担当者：

使用教科書：（「改訂版 標準 言語文化」第一学習社）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者の関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通して他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|---|---|----|---|---|---|--|---|---|---|----------|
| | | | 話 | 聞 | 書 | 読 | | | | | |
| 1 学期 | 単元「古文入門」 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れ、話の面白さや人間描写の巧みさを伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話の面白さを伝え合わせる。 | ・指導事項 古典作品のおもしろさを味わわせ、興味関心を持たせる。 ・教材「児のそら寝」 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れ、話の面白さや人間描写の巧みさを伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話の面白さを伝え合おうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | 単元「小説を読むⅠ」 【知識及び技能】 読書の意義と効用を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成と展開を理解し、セリフや行動から人物像と心情を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめさせる。 | ・指導事項 人物のセリフや行動・情景から心情や人物像を読み取らせる。 ・教材「とんかつ」 ・一人1台端末の活用 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成と展開を理解し、セリフや行動から人物像と心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 単元「小説を読むⅠ」 【知識及び技能】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 語彙や語感を豊かにし、自分を表現しようとしている。 | ・指導事項 本を一冊選んでビブリオパルの原稿を書く。 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | | 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 語彙や語感を豊かにし、自分を表現しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 | |
| 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学期 | 単元「小説を読むⅡ」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 下人の行動や心理をもとに、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を解釈させる。 | ・指導事項 長編小説の読解と、人物それぞれの立場による価値観の違いなどを理解させる。 ・教材「羅生門」 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 下人の行動や心理をもとに、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を解釈する。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 単元「故事成語」 【知識及び技能】 漢文の訓詁に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することに興味を持たせる。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解き、内容や展開を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、内容を工夫してまとめさせる。 | ・指導事項 訓詁法を理解し、現在使われている言葉が漢文に由来することに興味を持たせる。 ・教材「矛盾」 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 漢文の訓詁に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解き、内容や展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、内容を工夫してまとめようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学期 | 単元「漢詩の鑑賞」 【知識及び技能】 漢詩のきまりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩のきまりを進んで理解しようとする。 | ・指導事項 漢詩のきまりを理解させる。 ・教材「春曉」「静夜思」 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 漢詩のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩のきまりを進んで理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 単元「歌物語を読む」 【知識及び技能】 作品の歴史的・文化的背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語というジャンルを踏まえ、内容や展開を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えさせる。 | ・指導事項 古典文法に慣れさせ、歌物語の価値を理解させる。 ・教材「筒井筒」 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | | | 【知識及び技能】 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語というジャンルを踏まえ、内容や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学期 | 単元「言語活動」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 季語を用いて感じたことを俳句で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで俳句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って俳句を用いて短歌を創作させる。 | ・指導事項 俳句の表現技法を理解し、創作意欲を引き出す。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | | | | 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 季語を用いて感じたことを俳句で表す。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで俳句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って季語を用いて俳句を創作しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | 70 |